

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すてつぷすきつぷ第二		公表日		2026年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		屋内活動・屋外活動に分けて、密集化しないようにしています	天候や気温等で屋外活動が出来ない時、活動の内容や工夫が必要となっています	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たしています	今後も手厚い人員配置が出来るようしていきます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		マットの色を変えて子どもたちでもわかりやすく、見えやすいようにしています	改善が必要となる部分に関しては、職員間で話し合い速やかに改善しているが、職員全体の周知には時間を要しているのが今後の課題となっています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		施設内の整理・整頓を常に行うようにし、空間の美化を行っています	子どもたちの活動に合わせた空間が出来るように工夫しているが、活動内容に合わせた空間確保ができるように職員同士の連携が課題となっています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		部屋数は少ないですが、個別対応出来るようにしています	個別の部屋が少ないため、場所や空間の環境改善が必要となっている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援開始前、終了後に実施しその都度状況の把握と必要な改善を行っています	引き続き尽力していきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価を実施し、その評価を元に職員で改善に向けて検討しています	保護者様の意見を基に、今後も真摯に向き合っていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援開始前、支援後に職員の意見を共有して改善を話し合う事が出来ています	全員周知には時間を要しているが速やかに全員が周知出来るように改善が必要	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っておりません		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		今後も支援の共有や改善に繋げていきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に基づいて、プログラムを製作しています	慢性化しないよう、また内容や課題となることができた場合、速やかに改善し、実行出来るようにしていきます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		児童の状況の把握やかかえている課題等を掘り下げて情報収集し、ご家族様と一緒に支援計画を作成するようにしています	今後も適切なアセスメントや計画作成に努めていきます	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング等に合わせ、職員にもモニタリングを行いニーズを抽出して計画を作成しています	支援内容の確認や統一した支援・子どもたちが最高の利益が得れるよう努めていきます	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を職員間で閲覧できるようにし、計画に沿った支援に取り組んでいます	支援が変更になった際は、支援開始前のミーティングで周知するように努めています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなアセスメントに加え、日々のミーティングでの情報はインフォーマルなアセスメントとして確認しています	日々の行動観察を意識したアセスメントを使用し、確認していきます	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらいや支援内容をふまえながら、適切な支援の項目・具体的な支援内容の設定に努めています	これからもガイドラインを意識して取り組んでいきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で意見を出し合い5領域に基づいたプログラムを立案しています	これからも職員間で意見を出し合い、共有し立案していきます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムの内容が固定しないように、内容を変えて活動に変化を持たせています	これからも活動や内容にバリエーションを持たせるように配慮していきます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別を意識して、個別活動や集団活動を組み合わせ合わせた計画を作成し、支援を行っています	これからも引き続き状況に応じて計画の作成・支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にミーティングを行い、前日までの支援を振り返り、当日の業務確認、支援内容の確認を行っています。	職員で連携して支援を行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、翌日の支援前までにミーティングをおこない、支援の振り返りや気づきを共有しています	これからもミーティングにて振り返りや気づきを共有し、統一した支援が出来るように行っています	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別目標に沿った日々の記録を行い、ミーティングにて支援検証をして改善に繋がっています	これからも丁寧に記録をとり、支援検証して改善につなげていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごと（また必要時）にモニタリングを行い、見直しの必要性を判断した上で、ニーズを抽出して適切な見直しを行っています	引き続き取り組んでいきます
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参画しています	これからもガイドラインを意識した支援に取り組んでいきます
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えています	今後も連携を図っていきます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて情報共有と相互理解を図っています	今後も引き続き情報共有をおこなってまいります
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		状況に応じて連携や情報共有を行い、支援に役立てるようにしています	今後も引き続き情報共有・相互理解に努めてまいります
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けられる体制を整えています	今後も連携を図っていきます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		状況に応じた交流が出来るようにします	今後も交流や活動が出来るようにしていきます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の状況は連絡ノートやメールを通じてまた送迎時に情報共有をしています。必要に応じた適時相談対応もおこなっています	今後も連携を図っていきます
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	相談や情報提供を行っています	今後は色々な機会を設けていきます
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書に明記し、契約時に説明させていただいています	引き続き丁寧に対応していきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		変更時にはモニタリングを行い、意向確認を行い児童や保護者の意向を反映した計画になるようにしています	今後も意向確認をおこなうとともに、児童・保護者の意思の尊重・利益の優先の考慮をしていきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		作成した計画の説明を行い、内容を確認して頂き同意を得ています	引き続き丁寧な説明を行ったうえで、同意が得られるようにします
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング時状況によってご相談があったときは助言等の対応をしています	今後も丁寧に対応してまいります
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	状況に合わせて交流する機会を設けていきます	実施できるよう努力してまいります
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口・相談者を設け、重要事項説明書に明記し、契約時に説明をさせて頂いています	引き続き、丁寧に対応していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	SNS等を活用することにより、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者に対して発信しています	定期的に通信を発行することやHPやSNSの充実を図り、情報提供に努めてまいります
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いについては事前に承諾を得て、十分に留意をしています	今後も十分に留意してまいります
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者と意思疎通や情報伝達方法についてアセスメント時、また状況に合わせて共有し一人一人にあったコミュニケーションを図っています	これからも一人一人にあったコミュニケーション方法に配慮してまいります

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	状況に応じて実施していきます	今後も状況に応じて実施していきます
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、いつでも閲覧可能な場所に保管しています。マニュアルに基づき対応・訓練を実施しています	引き続き実施していきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、それを基に定期的に非常災害を想定した避難訓練を実施しました	引き続き実施し、災害に備えています
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時（アセスメント時）保護者から詳細に聞き取りを行い、服薬や発作がある児童の情報を職員間で周知・確認しております	状況を周知し、確実な対応をしていきます
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的に、ご家庭から持参される昼食・おやつを摂取していただいております	対応が必要な児童が利用している際には、医師の指示に基づいた対応を行います
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を基に、消防設備・感染症自主点検・環境整備・安全管理に必要な点検と訓練を行い、また送迎時に降り忘れ防止委装置を設置し、職員で研修・訓練を行いました	今後も安全を第一に考え、研修や訓練を実施するなど安全管理の徹底をしていきます
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成し、保護者へ計画について説明するようにしています	安心して利用していただけるよう、今後も連絡帳や対面、必要時は電話連絡などを行い、保護者との情報共有に努めていきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間でのヒヤリハット事案を共有し、検証を行い、再発防止に努めています	怪我や事故が発生した場合は、速やかに連絡をし、状況について説明をいたします
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員間において、虐待をおこさせない環境づくりにむけ、事故・虐待・不適切行動に向けた取り組み強化にかかる意見交換を実施しています	今後も日々の支援の振り返りを行いながら、虐待防止に努めています
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず行動制限、身体拘束を行う時間と理由について職員間で検討・周知し、保護者へ行動制限・身体拘束に関する説明書・実施・同意書をもとに、説明を行い、個別支援計画に記載し、同意をいただきます	引き続き、行動制限・身体拘束の制限がある児童利用時は、解除に向け対応していきます

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぷすきつぷ第二		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育内容や使用するものなどが決まっていない為、子どもたちの興味や関心、能力によって様々な活動を行うことができる	来た時からおもちゃが見えると、療育に移行する前に遊んでしまったりと、気持ちの切り替えが難しい時があるので、おもちゃスペースにガードを用意している	療育の質をあげるため、あらたな道具を用意したり、工作ハサミを使うなどの複数の療育を取り入れてやっていく
2	先生の人数が多いので、それぞれマンツーマン指導や小グループでの活動が可能であるところ	個々の能力ややりたい事、どれくらい伝えられるかの度合いが違うので、パニックになった時には散歩や外遊びシャボン玉遊びなどを取り入れて、気持ちを抑えてもらえるようにする	気持ちを指し示せるようなイラストを用意して子どもたちが指し示して自ら気持ちを伝えられるようにする
3	部屋が広すぎないため、全体に目が行き届く。何もしていない児童や困っている児童などにもれなく支援することができる	狭いスペースだが、フロアマットの色を勉強スペースとそれ以外で変え、児童が分かりやすいようにした	場所が狭いことで室内遊びでは担えないところを、外遊びや外での学習を増やして、体を十分に動かせるように機会を増やしていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室のスペースが限られているため、療育(特に室内での運動療育)など人数を絞ってやらなくてはいけないところ不安定になった児童が気持ちを抑えるために過ごすスペースがないため、他の児童に影響を及ぼしてしまうところ	給湯室などに椅子を置いたりして対応するようにしているが、落ち着くおもちゃや本などの設置が間に合っていない為、対応が出来ていない時がある	児童が安心できる本やシール教材などを設置して、利用する児童の気持ちが紛れるようにスペース作りに取り組んでいく
2	外遊びやダイナミックな遊びに制限があり、男子児童からは物足りなさを指摘されることもある	男性スタッフや若いスタッフがすくないところ	人材雇用など努力していく
3	来所後、学校の宿題サポートをしてから日々の療育プログラムに取り組ませているが、高学年になればなるほど、宿題の量が多くなったり、り、下校時間が遅くなったりしてプログラムに取り組める時間が十分に取れない時がある。(特に外遊びなど校外に出る予定の時)	保護者からの宿題終了に対する思いが強いため、週末など沢山宿題が出た日などにメンタルがついていけない児童は、時間がかかったりして療育活動が早くしたい思いも交錯して、時間が余計にかかってしまう	保護者の希望に沿いつつも、児童自身の気持ちを尊重し、出来るところまで頑張ることを目標に保護者の方にもコミュニケーションをとっていく。児童にとっても居心地のいい空間を作っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すてっぷすきっぷ第二

公表日 2026年3月31日

利用児童数 2026年12月10日現在 4名

回収数 4件

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1	0	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	0	0	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	2		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	0	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	1	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	2		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	2		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	2		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	2		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0			
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	2		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	2		
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0	毎回行くのを楽しみにしています	これからも楽しんできてもらえるようにさまざまな療育活動に取り組んでまいります
	29 事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すてっぷすきっぷ第二			公表日	2026年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		屋内活動・屋外活動に分けて、密集化しないようにしています
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		基準を満たしています	今後も手厚い人員配置が出来るようしていきます	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		マットの色を変えて子どもたちでもわかりやすく、見えやすいようにしています	改善が必要となる部分に関しては、職員間で話し合い速やかに改善しているが、職員全体の周知には時間を要しているのが今後の課題です	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		施設内の整理・整頓を常に行うようにし、空間の美化を行っています	子どもたちの活動に合わせた空間が出来るように工夫しているが、活動内容に合わせた空間確保できるように職員同士の連携が課題となっています	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		部屋数は少ないですが、個別対応出来るようにしています	個別の部屋が少ない為、場所や空間の環境改善が必要となっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援開始前、終了後に実施しその都度状況の把握と必要な改善を行っています	引き続き尽力していきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価を実施し、その評価を元に職員で改善に向けて検討しています	保護者の意見やその評価を基に、今後も真摯に向き合っていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援開始前、支援後に職員の意見を共有して改善を話し合う事が出来ています	全員周知には時間を要しているが速やかに全員が周知出来るように改善が必要	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は行っておりません		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		介護技術研修の他、利用者の事例研修を行っています	今後も支援の共有や改善につなげていきます	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に基づいて、プログラムを製作しています	慢性化しないよう、また内容や課題となることがでた場合速やかに改善し、実行出来るようにしていきます	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		児童の状況の把握やかかえている課題等を掘り下げて情報収集し、ご家族様と一緒に支援計画を作成するようにしています	今後も適切なアセスメントや計画作成に努めていきます	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング等に合わせて、職員にもモニタリングを行い、ニーズを抽出して計画を作成しています	支援内容の確認や統一した支援・子どもたちが最高の利益が得れるよう努めていきます	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を職員間で閲覧できるようにし、計画に沿った支援に取り組んでいます	支援が変更になった際は、支援開始前のミーティングで周知するように努めています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなアセスメントに加え、日々のミーティングでの情報はインフォーマルなアセスメントとして確認しています	日々の行動観察を意識したアセスメントを使用し、確認して行っています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらいや支援内容をふまえながら、適切な支援の項目・具体的な支援内容の設定に努めています	これからもガイドラインを意識して取り組んでいきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で意見を出し合い5領域に基づいたプログラムを立案していきます	これからも職員間で意見を出し合い、共有し立案していきます	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムの内容が固定しないように、内容を変えて活動に変化を持たせています	これからも活動や内容にバリエーションを持たせるように配慮していきます	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別を意識して、個別活動や集団活動を組み合わせ合わせた計画を作成し、支援を行っています	これからも引き続き状況に応じて計画の作成・支援を行っています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にミーティングを行い、前日までの支援を振り返り、当日の業務確認、支援内容の確認を行っています。	職員で連携して支援を行っています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後、翌日の支援前までにミーティングをおこない、支援の振り返りや気づきを共有しています	これからもミーティングにて振り返りや気づきを共有し、統一した支援が出来るようにして行きます	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別目標に沿った日々の記録を行い、ミーティングにて支援検証をして改善に繋げていきます	これからも丁寧に記録をとり、支援検証して改善につなげていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年ごと（また必要時）にモニタリングを行い、見直しの必要性を判断した上で、ニーズを抽出して適切な見直しを行っています	引き続き取り組んでいきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」に基づいて、複数組み合わせた活動を提供し、支援を行っています	これからもガイドラインを意識した支援に取り組んでいきます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択の機会を増やし、自己決定が出来る力を育てる支援をおこなっています	これからも取り組んでいきます
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者が参画しています	今後も利用児童に関り、実際の状況をよく周知していきます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えています	今後も連携を図っていきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校に連携していただいております、その日の様子や体調についてもしっかりと情報共有を行っております	今後も引き続き情報共有をおこなってまいります
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		状況に応じて連携や情報共有を行い、支援に役立てるようにしています	今後も引き続き情報共有・相互理解に努めてまいります
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今年度は対象児童がおりません	今後も引き続き情報提供を行っていきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けられる体制を整えています	今後も連携を図っていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	状況に応じた交流が出来るようにします	今後も交流や活動が出来るようにしていきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	体制を整えて参画出来るようにしていきます	引き続き参画出来るように努力していきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の状況は連絡ノートやSNSを通じてまた送迎時に情報共有をしています。必要に応じた適時相談対応もおこなっています	今後も連携を図っていきます
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	相談や情報提供を行っていきます	今後は色々な機会を設けていきます
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		重要事項説明書に明記し、契約時に説明させていただきます	引き続き丁寧に対応していきます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		変更時にはモニタリングを行い、意向確認を行い児童や保護者の意向を反映した計画になるようにしています	今後も意向確認をおこなうとともに、児童・保護者の意思の尊重・利益の優先の考慮をしていきます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成した計画の説明を行い、内容を確認して頂き同意を得ています	引き続き丁寧な説明を行ったうえで、同意が得られるようにします
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		モニタリング時、状況によってご相談があったときは助言等の対応をしています	今後も丁寧に対応してまいります
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	状況に合わせて交流する機会を設けていきます	実施できるよう努力していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談窓口・相談者を設け、重要事項説明書に明記し、契約時に説明をさせて頂いております	引き続き、丁寧に対応していきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS等を活用することにより、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者に対して発信しています	定期的に通信を発行することやHPやSNSの充実を図り、情報提供に努めていきます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いについては事前に承諾を得て、十分に留意をしています	今後も十分に留意していきます
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者と意思疎通や情報伝達方法についてアセスメント時、また状況に合わせて共有し、一人一人にあったコミュニケーションを図っています	これからも一人一人にあったコミュニケーション方法に配慮していきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	状況に応じて実施していきます	今後も状況に応じて実施していきます

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、いつでも閲覧可能な場所に保管しています。マニュアルに基づき対応・訓練を実施しています	引き続き実施していきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、それを基に定期的に非常災害を想定した避難訓練を実施しました	引き続き実施し、災害に備えています
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時（アセスメント時）保護者から詳細に聞き取りを行い、服薬や発作がある児童の情報を職員間で周知・確認をしております	状況を周知し、確実な対応をしています
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		基本的に、ご家庭から持参される昼食・おやつを摂取していただいております	対応が必要な児童が利用している際には、医師の指示に基づいた対応を行います
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を基に、消防設備・感染症自主点検・環境整備・安全管理に必要な点検と訓練を行い、また送迎時に降り忘れ防止委装置を設置し、職員で研修・訓練を行いました	今後も安全を第一に考え、研修や訓練を実施するなど安全管理の徹底をしていきます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成し、保護者へ計画について説明するようにしています	安心して利用していただけるよう、今後も連絡帳や対面、必要時は電話連絡などを行い、保護者との情報共有に努めています
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間でのヒヤリハット事案を共有し、検証を行い、再発防止に努めています	怪我や事故が発生した場合は、速やかに連絡をし、状況について説明をいたします
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員間において、虐待をおこさせない環境づくりにむけ、事故・虐待・不適切行動に向けた取り組み強化にかかる意見交換を実施しています	今後も日々の支援の振り返りを行いながら、虐待防止に努めています
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず行動制限、身体拘束を行う時間と理由について職員間で検討・周知し、保護者へ行動制限・身体拘束に関する説明書・実施・同意書をもとに、説明を行い、個別支援計画に記載し、同意をいただきます	引き続き、行動制限・身体拘束の制限がある児童利用時は、解除に向け対応していきます	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すてっぷすきっぷ第二		
○保護者評価実施期間	2025年 12月10 日 ～ 2026年 1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日 ～ 2026年 2月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育内容や使用するものなどが決まっていない為、子どもたちの興味や関心、能力によって様々な活動を行うことができる	子どもたちの好きなキャラクターで療育用品を用意したり、巷で人気の曲などでダンスを運動に取り入れたりして子どもたちが自主的に楽しく療育に取り組めるように工夫している 言葉の使い方やお友達に対する態度など、動画などで分かりやすく説明してある動画やマンガを取り入れて、子ども自身がわかりやすいように工夫している	支援学校や支援級の先生方にも協力を依頼したり、同グループの事業所に所属する専門家(理学療法士など)などにもヒントを得て療育に専門性を持たせるようにする
2	先生の人数が多いので、それぞれマンツーマン指導や小グループでの活動が可能であるところ	色々な小学校から来ているため、学校を越えて気の合うお友達と交流出来るように、グループ活動や集団での療育も入れて交流できるように声掛けをしたりして、コミュニケーション能力を養っている	動画などから、児童たちが受け入れやすい内容が、まとめているものを使用し、視覚からも子どもたちにもわかりやすいように工夫していく

3	部屋が広すぎないため、全体に目が行き届く。何もしていない児童や困っている児童などにもれなく支援することができる	机の配置をあえて壁側に向けて設置したり、勉強スペースとそれ以外でフロアマットの色を変えて、気が散らないように集中出来る環境や子どもたちが視覚的に把握できる環境を作っている	教室内に掲示物などを掲示し、常に子どもたち自身が意識する環境やトラブルが起きた時わかりやすく示せるような環境づくりを行っている。
---	---	---	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室のスペースが限られているため、療育(特に室内での運動療育)など人数を絞ってやらなくてはいけないところ不安定になった児童が気持ちを抑えるために過ごすスペースがないため、他の児童に影響を及ぼしてしまうところ	相談室などに椅子を置いたりして対応するようにしているが、落ち着くおもちゃや本などの設置が間に合っていない為、対応が出来ていない時がある	児童が安心できる本やシール教材などを設置して、利用する児童の気持ちが紛れるようにスペース作りに取り組んでいく
2	外遊びやダイナミックな遊びに制限があり、男子児童からは物足りなさを指摘されることもある	男性スタッフや若いスタッフがすくないところ	人材雇用など努力していく
3	来所後、学校の宿題サポートをしてから日々の療育プログラムに取り組ませているが、高学年になればなるほど、宿題の量が多くなったり、り、下校時間が遅くなったりしてプログラムに取り組める時間が十分に取れない時がある。(特に外遊びなど校外に出る予定の時)	保護者からの宿題終了に対する思いが強いため、週末など沢山宿題が出た日などにメンタルがついていけない児童は、時間がかかったりして療育活動が早くしたい思いも交錯して、時間が余計にかかってしまう	保護者の希望に沿いつつも、児童自身の気持ちを尊重し、出来るところまで頑張ることを目標に保護者の方にもコミュニケーションをとっていく。児童にとっても居心地のいい空間を作っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すてっぷすきっぷ第二

公表日 2026年3月31日

利用児童数 2026年1月31日現在 29名

回収数 29件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	4	3	2	人数に対してもう少し広さがあると安心します。個室があると個別対応が必要な時に安心です	密集化しないようにしています。屋内活動・屋外活動のグループに分け、個別対応が出来る容易にしています。今後も引き続き対応させていただきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	0	0	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	1	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	1	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	3	0	0	工作やお出かけなど、色々な活動ができて楽しみにしています	プログラムが僵硬化しないよう、またバリエーションを豊かにし、楽しく取り組めるように努めています
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	6	14	特段の希望はないです	放課後児童クラブや児童館との交流はないですが、公園遊び等で地域の子どもと活動する機会があります。引き続き交流できる機会を作っていきます
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	3	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	7	10		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	27	2	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	5	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2	1	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	10	12	保護者会等の希望はないです	父母の会等は実施しておりませんが、保護者様からのご意見や今後の状況を考慮して検討してまいります
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	3	1	4		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2	0	3		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	5	2	6		
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	3	1	5	アンケート用紙の配布が名前入りの封筒だった	配布の徹底や要望に的確にお応えするための対応であったが、今後は無記名配布とさせていただきますよう変更します	
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	4	0	11		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	0	10		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3	0	7		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1	0	1		
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0	いつも楽しそうに機嫌よく帰ってきています	すてっぷがお子様の楽しみや息抜きに慣れるように、これからも努力してまいります
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	3	0	0		
	29 事業所の支援に満足していますか。	27	2	0	0	宿題をみていただいて大変助かってます。送迎もありがたいです	モニタリングなどでの要望に応じて児童や保護者の要望にお応えできるように今後も努力してまいります